

森林やまがた

No. 61

2002 4月



霞城公園「大手門」：山形市



第53回全国植樹祭

感じていますか 森があるしあわせ

目次

霞城公園「大手門」……………	1	現地ルポ	
平成14年度森林行政の主要施策…	2	新規就業者の林業機械事前研修会を開催…	8
第53回全国植樹祭に向けて		平成14年度の研究開発と研修計画…	9
式典音楽、創作演技等進む準備…	4	山形県の古木・名木……………	10
『山形の家づくり		公共木造施設……………	10
利子補給制度』を創設……………	6	「緑の募金」について……………	11
ぼく達の緑の少年団		「森林フォーラム」のご案内…	11
活動を振り返って……………	7	「森林浴の集い」のご案内……………	11
		山火事予防運動の実施……………	12

平成十四年度 森林行政の主要施策

路網の整備、間伐材の用途の開
発及び安定的な供給体制の整備
を一体的に行ってまいります。

しながら担い手の育成・確保に
努めます。

県民の森林に対する期待に応
えていくため、平成十三年度に

地産地消にとりくみ、より一層
の需要拡大を図ってまいります。

資源循環型森林施業団地化モ
デル事業等を引き続き実施し、

一、豊かな暮らしを
広げる森林づくり

策定した『山形県森林整備長期
計画』に基づき、「循環型社会を

住宅関連業者のネットワーク
活動に対する支援、新たに創設

担う森林づくり」と「豊かな暮
らしを広げる森林づくり」を柱

された「山形の家づくり利子補
給制度」など他部局の取組みと

間伐材、葉付き乾燥材の生産を
推進します。

① 多様な森林の整備

に、次のような施策を展開し、
森林の多面的機能の発揮を図っ

る家づくりを推進します。

森林の整備・管理に欠かせな
い林道や作業道の整備を推進し

水資源の確保や県土の保全、
里山の保全等良好な生活環境の

てまいります。また、本年六月
二日に金山町で開催される全国

また、公共建築物の木造化や内
装の木質化、間伐材の土木用資材

また、森林病害虫防除事業、
新たに創設された出羽庄内公益

また、森林整備地域活動支援交付
金制度

植樹祭の成功に向け、万全の準
備・取組みをしてまいります。

さらに、木質バイオマス資源
の活用等にも取り組んでまいり

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

備・取組みをしてまいります。

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度

また、森林整備地域活動支援交
付金制度



山形の森林－人工林(スギ)－

不可欠な地域活動に対して支援し、適切な森林施業の実施を推進します。

③ 里山の再生と県民参加の森林づくり

里山における森林オーナー制やボランティア活動等による森林づくり、さらには、グリーンツーリズムとの連携を図るなどして、森林と人との多様な関わりを再構築しながら、「都市と農村の交流」や「県民参加の森林づくり運動」を一層推進し、県民全体で森林を支える機運を醸成していきます。

④ 全国植樹祭

第五十三回全国植樹祭の成功に向け、万全の取組みをしてまいります。

また、天皇、皇后両陛下の記念植樹に併せ、一家族一記念植樹事業を実施するとともに、「遊学の森」の整備を引き続き推進します。

⑤ 特用林産物の生産振興

やまがた特用林産物振興対策事業等による生産施設の整備に対する支援、自然の力を活かした山形らしい特用林産物の生産振興など、森林資源の総合利用を推進し、豊かな山村づくりに努めます。

⑥ 試験研究の推進

森林の整備・管理や木材資源の利用等に関する実用化技術の研究開発を進めるとともに、技術研修会等を通じてその成果の速やかな普及を図ります。

〔県森林課〕



山形の森林－天然林(ブナ)－

山形の森林づくり



(※山形県森林整備長期計画から)

第53回全国植樹祭に向けてー 式典音楽、創作演技等 進む準備

第53回全国植樹祭の特別委員

会が、平成十四年二月十二日東京都永田町の衆議院議長公邸で開かれ、実施計画案などが全会一致で了承されました。高橋知事は「今回の承認を受け、万全の体制で準備を整える。森を大切に作る気運を高めながら豊かな県土づくりを進めたい」と語り、その後宮内庁を訪れ天皇皇后両陛下のご出席を正式に要請しました。

六月二日の植樹祭も近づき、関係者の準備にも拍車がかかってきました。今回は式典運営の重要な役割を担う子供たちの「がんばり」を報告します。

●式典アシスタント

天皇皇后両陛下をはじめ来賓の方々のお手伝いを担う式典アシスタントは、基礎研修が終盤を迎えています。式典アシスタントは金山高校と真室川高校の生徒十四名と、金山町内の緑の少年団三十九名からなる「植樹祭式典の応援団」です。昨年九



式典アシスタント研修
1/12 金山町農村環境改善センター

月の委嘱状交付以降、七回の研修を重ね本番に臨む準備をしてきました。アシスタントの役割に関する講義に始まり、歩き方、お辞儀の仕方や話し方など多種多様なプログラムに意欲的に取り組んでいます。

●式典音楽

記念式典全体を通して音楽を担当する式典音楽隊については、編成するそれぞれの高校で演奏曲の練習を重ねているほか、部門別（合唱、吹奏楽及びファンファーレ）の合同練習を行い、準備を進めています。

また、二月二十五日に開催された式典音楽専門委員会において、本番の演奏曲の指揮者八名が決定されました。今後の全体練習会では、各曲ごとに、指揮者が中心となって仕上げを進めていくこととなります。

吹奏楽隊は、最上地域の



吹奏楽隊第二回合同練習会
2/13 新庄市民文化会館

北高校、新庄南高校、新庄農業高校、新庄工業高校、そして北村山地域の榎岡高校、北村山高校の計六校の一五七名で編成されます。昨年八月に第一回合同練習会を開き、陸上自衛隊神町駐屯地吹奏楽隊の指導により、各パートに別れて基礎練習を行いました。二月十三日には、新庄市民文化会館で第二回合同練習会を開き、本番で予定している「天皇皇后両陛下御徒歩の音楽」など九曲を演奏し、リズム



児童合唱隊合同練習会
2/21 金山小学校

や音程などを調整しながら、全体の流れを確認し、式典当日は、最高の演奏をしようと、真剣な表情で取り組んでいました。
児童合唱隊は、金山町の金山小学校と有屋小学校の五・六年生一一一名で編成されます。これまで、昨年の十月と十二月、そして二月二十一日と三回にわたり合同練習会を重ねてきました。

山形北高校の瀧口正彦教諭の指導のもと、発声方法や和音の取り方など、基礎的な練習と並行して、本番で演奏する「里山のふるさと」のメドレー」の中の「春の小川」など六曲を繰り返し練習しました。本番では、さわやかな合唱を会場いっぱいに響かせようと、元気に取り組んでいます。

記念式典の開会を告げるファンファーレ隊は、山形南高校と日大山形高校で編成され、これまでそれぞれの学校で個別練習に励んできましたが、二月二十日山形南高等学校記念講堂で四十名による合同練習がおこなわれました。ファンファーレは、天皇皇后両陛下の御到着時、開会のことば、大会宣言及び閉会のことばなどの式典の節目に四回行われます。
今後、式典音楽隊の全体練習や悪天用の録音、さらに、各リハーサルに取り組み、本番に向けて演奏の完成度を高めていきます。

● 集団演技

本県の特徴をだすプログラムとして、映像と創作演技で綴る「感じていますか 森があるしあわせ」があります。この練習も三月十日の山形市児童劇団への指導で本格的に始まりました。団員は、戸惑いながらも、明るく元気に合唱や振付の指導を受けています。



創作演技練習会
3/11 山形市民会館

このプログラムの前段では、緑の少年団のメンバーの祖父から森の話を聞き、森の恵みと森の大切さを理解しながら、森への感謝の心を膨らませ、森づくりを始める模様が映像で表現されます。後段は、子供達により「四季の森の彩り」がテーマ曲に合わせて、合唱や集団演技で表現され、最後に「森づくりとその継承」を誓い、紙風船を一斉に空に放ち、森づくりの行動の輪を全国に発信するという物語です。
四十名を超える山形市児童劇団は、「森のおどり隊」となって春から冬までの森の躍動を色鮮やかなコスチュームとダンスで表現します。この演技と新庄小学校四、五、六年生合唱部員三十四名による「森のコーラス」が一緒になり、森林があるしあわせを会場いっぱいアピールします。「全国植樹祭推進事務局」

木造住宅での県産材利用拡大に向けて 『山形の家づくり利子補給制度』を創設

長引く不況の中、本県における昨年の新築住宅着工戸数は、

材産業への経済波及効果を狙いとするものです。

八千八百十五戸と昭和六十三年

〇利子補給制度の概要

以来の低い水準となっており、

一、対象住宅

県内の住宅関連産業に多大な影響を与えているほか、需要減少

耐久性基準（住宅金融公庫の耐久性基準を準用）に適合する住宅（建築又は分譲）

に伴う材価の低迷から木材の生産活動も停滞し、林業・木材産

二、利子補給率

業界も危機的状况にあります。

ア、構造材の六〇％（体積比）

県では、平成十四年度から新しく、『山形の家づくり利子補給制度』をスタートします。

以上）に県産材を使用する住宅（以下県産材使用住宅という）に対して、一・〇％

この制度は、柱の断面寸法を

イ、その他 〇・五％

大きくするなど、耐久性が高く

三、利子補給対象限度額

長持ちする木造住宅の建築促進

一千五百万円

と、住宅の構造材への県産材の

四、利子補給期間

利用率を高めることによる県産

五年間

材の需要拡大を目的とし、併せ

五、利子補給の対象

て県内住宅関連産業や林業・木

民間金融機関の住宅ローン

六、利子補給の方法

契約金利を、利子補給率で低減した金融機関に、本来の利子額との差額を補給する。

七、利子補給戸数

ア、県産材使用住宅 四百戸

イ、その他 二百戸

八、所得制限

給与所得者の場合、収入金額一千万円。その他七百八十万円。ただし、県産材使用住宅の場合は、所得制限なし。

九、耐久性基準の確認

耐久性基準の適合は、建築士等の報告による。県は必要により現場を確認する。

十、県産材使用の確認

県産材の使用は、木材出荷者と施工者の報告による。県

は必要により現場を確認する。

十一、構造材の種類

ア、床組「大引、根太、床束」

イ、軸組「土台、通し柱、管

柱、間柱、胴差、梁、桁、筋交い、貫」

ウ、小屋組「母屋、棟木、小屋束、垂木」

十二、募集回数・期間（予定）

一回目「五月一日より二週間」

二回目「七月一日より二週間」



県産材を使用した住宅（山形市内）

この制度が県民に浸透することにより、県産材を使った丈夫で長持ちする良質な木造住宅の建築が促進され、地域経済の活性化と山村に潤いをもたらされることが期待されます。（県森林課）



舟形町立富長小学校
六年 高 橋

光

ぼく達の富長小学校は、たくさん緑に囲まれたやまゆりさく丘の上であり、近くには、あゆで有名な小国川が流れています。

ぼく達の小学校では、四年生以上の四十七名が緑の少年団に入っています。みんなで緑をふやそうとがんばっています。

四月は、通学路の清そう活動をしています。タバコのすいがらや空きカンなどが捨てられているので、一生けん命拾います。去年は、三年生が、みんなごみを捨てないでくださいと、看板を立ててくれました。ごみは捨てないでほしいです。

五月には、学校近くの「三角



緑のプレゼント

点」と呼ばれる山を、一年生から六年生までの全員が「あゆっこ班」というたて割り班に分かれて登ります。山登りはつらいけれど、こぶしの花などを見つけたら、頂上から景色をながめたりすると、とても気持ちがいいです。だから、とても楽しい活動で、みんな喜んでいきます。

夏休みには、四年生の希望者が、「庄内・最上地区交流研修会」に参加して、自然のことについていろいろと楽しく学んできました。友達もできて、とてもいい思い出ができると、参加した人は言います。

九月には、舟形町の「若あゆ祭り」があります。そこで、ぼく達は、緑をもっとふやしましように、自然をもっと大切にしましょうという願いをこめて、なえ木をプレゼントする「緑のプレゼント」の活動をしています。大切に育ててくださいと、心をこめて来場者の方にプレゼントします。祭りに参加してください。みなさんが、とても喜んでくれます。これからも、たくさん緑がふえるといいなと思います。

また、ぼく達は、年間ずっと「花いっぱい運動」を続けて

います。たくさん花がプランターや学級園に植えられています。とてもきれいです。今は、卒業式に向けてチューリップやヒヤシンスを育てています。早くきれいな花がさいてほしいです。



花いっぱい運動

今年の六月二日に、全国植樹祭が金山町で開催され、ぼく達も参加できるので、とてもうれしくほこりに思います。これからも自然を大切にする活動をずっと続けていきたいと思っています。



研修会の講義風景

現地ルポ

**新規就業者の林業機械
事前研修会を開催**

平成十四年一月三十一日から二月一日の二日間、平成十三年度里山景観創成事業に従事する新規就業者等を対象とした事前研修会を酒田市の十里塚地区で開催しました。

当事業は、緊急地域雇用対策の一環として酒田市と遊佐町の

砂丘林を整備するものです。

研修会は、下刈りやつる切り作業に従事するための刈払機 of 安全操作、労働災害の防止に必要な知識・技術の事前習得を目的とし、四十八名が受講しました。

研修内容は、森林・林業の基礎知識、砂丘林の歴史と現状、里山景観創成事業の作業内容等の他、林材業労働災害防止協会の恩田宗雄氏から労働災害や刈払機の操作について労働安全衛生規則に基づいた説明がありました。さらに作業上の危険回避などをビデオを用いながら詳しく解説していただき、安全作業の徹底を促しました。また、実技研修として刈刃の装着・目立



刈刃の目立て研修

て、機械の点検方法、安全な操作技術の反復演習などを行いました。

受講者は、ハローワークを通じて森林組合と雇用契約を締結した人達です。森林整備作業の経験もなく、刈払機の操作も初めてという人もおり、作業の危険性を実感するにつれ、多少の戸惑いも見受けられました。それでも研修終了時には、全員が講師の指導なしに操作できるよ



刈払機の安全操作研修

うになり、最後まで真剣に受講する態度や自ら率先して技術習得に励む前向きな姿勢は大変意義あるものであり、今後の作業に役立つ充実した研修となりました。

なお、今回の受講者には林業機械の特別技能講習の終了証が交付されることになり、今後の職域の拡大に結び付くものと期待しているところです。

〔庄内総合支庁森林整備課〕

県森林研究研修センターからのお知らせ 平成十四年度の研究開発と研修計画

◆研究開発◆

センターの研究開発は「山形県農林水産業に関する研究開発推進要綱」や「山形県科学技術政策大綱」に基づき実施されています。

今年度の主な研究開発は次のとおりです。

- 一、きのこ・山菜の優良品種の開発と栽培技術の確立
市場性の高い優良系統を探索選別するとともに、効率的な生産技術の改良開発を行います。
- 二、県産材の用途を広げるための技術開発
県産スギ中小径材の利用拡大をはかり、自然景観保全に適した資材を供給するため県産スギ丸太類を利用した屋外資材の開

発を行います。

- 三、木質資源の循環利用技術の開発
産業廃棄物として処理されてきた公園や街路樹等の剪定枝や

不用木を資源として活用するための技術開発を行います。

- 四、森林の多面的機能の維持・増進技術の開発
森林機能の維持増進をはかるため多様な森林の整備にむけた

森林造成管理技術を開発するとともに、庄内海岸マツ林の早期復旧技術の開発を行います。

- 五、森林被害防止技術の確立
森林の生物による被害が増大し保護管理の重要性が強く求められていることから被害防止技術の開発を行います。

- 六、花粉アレルギー情報提供システムの開発
県では平成十二年度から花粉アレルギー情報を提供するため

平成14年度研究開発課題

課題名	研究期間
施設栽培きのこの育種と安定栽培技術の確立	H11~15
山間地における特産化山菜の増殖技術と栽培技術の開発	H10~14
ニュータイプきのこ資源の利用と生産技術の開発	H8~15
特用林産物の栽培化に関する調査	H12~15
県産スギ丸太類を利用した屋外資材の開発	H12~16
木質材料の循環利用技術の開発	H12~16
長期育成循環施業に対応する森林管理技術の開発	H11~15
多様な広葉樹の育成・管理技術の開発	H12~16
海岸丘陵地帯における主要広葉樹による海岸林復元・改良技術の確立	H14~18
マツザイセンチュウ病抵抗性個体の選抜と採種園造成	H7~14
昆虫を指標とした里山広葉樹林の評価手法及び管理手法に関する調査	H12~16
花粉アレルギー情報提供システムの開発（衛研・農試との共同研究）	H12~14

のシステム開発に取り組んでい

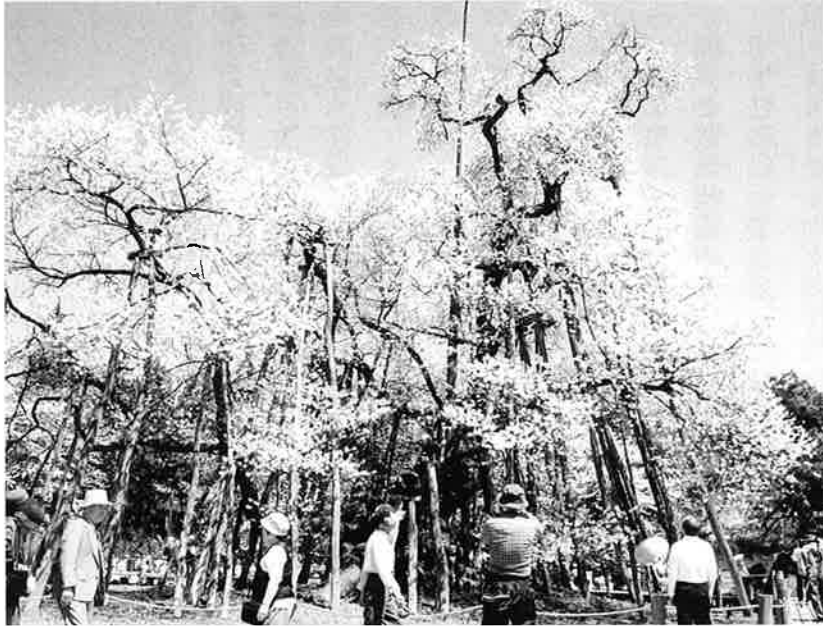
ますが、共同研究機関としてスギの生理生態的特性の解明や分布調査などの研究を行います。

◆研修・講習計画◆

林業従事者・後継者を対象に労働安全衛生法に基づく特別教育技能講習、林業教室等の開催を計画しています。

平成14年度研修・講習計画

名称	予定時期	募集人員	摘要
林業架線	7月25日~8月10日	20名	
車両系建設機械	6月13日~6月21日	20名	労働局指定教習機関
車両系安全衛生教育	2月	20名	
フォークリフト安全衛生教育	2月	20名	
林業教室（森林保護）	6月	20名	
〃（特用林産）	9月	10名	
林業士・指導林家研修	9月	30名	
林業士認定養成研修	7月	10名	
森の案内人養成研修	10月	50名	
森の案内人上級指導者研修	12月	30名	
教職員等森林林業教育研修	8月1日~8月2日	15名	
森林講座・試験研究成果報告会	9月	120名	
夏休み子どもサイエンス・スクール	7月	15名	



山形県の古木・名木③⑦

伊佐沢の 久保サクラ

長井市伊佐沢

案内図



長井市立伊佐沢小学校校庭の一隅にあるエドヒガンの老木で、幹の部分は周囲8疔を超しており、全く空洞化しているが数十本の支柱に支えられ、大枝が四方に張って今も桜の季節には見事な花をつけ、人々の目を楽しませてくれている。

この桜は、坂上田村麿とこの地の長者久保氏の娘玉女との悲恋物語もあって「お玉桜」の称もある。大正13年2月9日山形県で最も早く国指定天然記念物に指定されている。
〔山形県森林協会〕



公共木造施設 ①

山辺町 生涯学習施設

山辺町大字山辺



延床面積：641㎡

完成年度：平成11年度

構造：木造一部二階建

特徴：外壁の一部蔵づくり

その他：安達峰一郎博士の展示室が併設されている

問い合わせ先：山辺町教育委員会

「緑の募金」について
ご協力をお願いします

皆様の善意による寄付金は、緑の募金法に基づき、学識経験者で構成される運営協議会で審査され、森林の整備、緑化の推進、緑の国際協力に取り組みボランティア活動の支援のため、大切に活用されます。

募金の呼びかけは春の新緑シーズン（四〜五月）と秋の紅葉シーズン（九〜十月）に、(財)山形県みどり推進機構、市町村の林務主管課、緑の少年団、小中学校が行っていますので、ご協力をお願いします。

「緑の募金」に関するお問い合わせは
(財)山形県みどり推進機構

山形市大字長谷道字馬場 二六五
(☎)〇三三一六八八一六六三三

第53回全国植樹祭記念
「森林フォーラム」のご案内

森林の多面的機能とは、新しい森林づくりとは・・・みんなで考えてみましょう。

一、日時
平成十四年五月十八日（土）
午後一時から四時三十分

二、場所

山形国際交流プラザ（ホール）

三、主催

山形県、第五十三回全国植樹祭山形県実行委員会

四、基調講演

佐藤洋一郎氏

五、コーディネーター、パネラー

加倉井 弘氏、加藤 鐵夫氏

北村 昌美氏、芳村 真理氏

佐藤景一郎氏、秋野 公子氏

六、問合せ先

農林水産部森林課

(☎)〇三三一六三〇一二五二八

「森林浴の集い」ご案内

東北森林管理局山形森林管理署では、市民の皆さんが森林の中で自然と親しみ、遊び、学ぶ喜びを味わうことができるよう、森林とのふれあいを推進することから、次のイベントを企画しております。

なお、各イベントの詳細につきましては、次にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：山形森林管理署 ☎0237(86)3161

回数	イベント名	実施場所	実施予定日
第1回	三吉山・葉山を訪ねて	三吉山（上山市）	4月25日（木）
第2回	新緑の甌岳を訪ねて	甌 岳（村山市）	5月22日（水）
第3回	蔵王中丸山の自然探勝	中丸山（蔵王）	6月20日（木）
第4回	孤高の名花「コマクサ」を訪ねて	熊野岳（蔵王）	7月17日（水）
第5回	雁戸山登山と自然探勝	雁戸山（北蔵王）	8月8日（木）
第6回	初秋の南面白山を訪ねて	南面白山	9月12日（木）
第7回	瀬ノ原山登山と紅葉観賞	瀬ノ原山（山形市高瀬）	10月10日（木）
第8回	落葉樹の冬芽観賞	千歳山（山形市）	15年3月7日（金）



ヘリコプターによる消火活動(平成13年4月):白鷹町

山火事予防運動の実施
『火を消して 森を消さない 心がけ』

実施期間

平成14年4月23日(火)～5月31日(金)

たき火に注意!

しました。

平成十三年の林野火災発生件

広報活動を行います

数は五十六件、焼失面積二十一
 畝、損害額六百六十万円と、前
 年に比べ件数、面積、損害額す
 べてにおいて大幅に増加しまし

林野火災は瞬時に貴重な資源
 を奪い、失われた森林を取り戻
 すには、多くの時間と人手や経
 費を必要とします。

た。火災原因の半数は「たき火
 の延焼」となっており、発生月
 では、四月、五月の春季に集中

火災原因の殆どは人による火
 の不始末であることから、今年
 も県内各地区の関係機関が連携

し、山火事防止の啓発活動とし
 て、広報(新聞)紙を通じての
 呼びかけ、ポスターの掲示、の
 ぼり旗や横断幕の設置等を行
 います。

一人一人の心がけて貴重な森
 林資源を守りましょう。

〔真森林課〕



お気軽にご用命ください

- ☆ 土壌汚染・地下水汚染調査及び修復業務
- ☆ 保安林解除・林地開発許可申請書作成業務
- ☆ 土砂災害防止のための治山 GIS、地すべり GIS 及び上下水道施設、都市計画などの都市 GIS 業務

土と水と緑の技術で社会に貢献する



国土防災技術株式会社
 山形支店

☎990-0023 山形市松波1-16-9(カネマルビル)
 TEL(023)622-3979・FAX(023)631-7294

建設コンサルタント / 建設業 / 地質調査業 / 測量業

印刷所
 渡辺活版所
 定価 一部二一〇円

森林やまがた 4月号 平成14年4月1日発行 通巻第61号

監修 山形県
 編集・発行 山形県森林協会
 〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内
 TEL 023-631-6566 3-622-8823
 FAX 023-631-6573

「ゆとり都」森林課ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ns/shinrin/index.html>
 第53回全国植樹祭ホームページ <http://www.shokujusai-yamagata.jp>

古紙配合率 100%再生紙を使用しています